

第 61 回 渋谷駅周辺地域の整備に関する調整協議会

次 第

1 議 事

(1) 第 23 回 渋谷駅中心地区まちづくり調整会議（2025.03.25）のご報告

① 事業全体について

- 渋谷駅中心地区の整備状況等の整理 資料 1-1
- 五街区統合図の更新について 資料 1-2
- 全体事業スケジュール（案） 資料 1-3

② 国道 246 号沿道環境について 資料 2

③ 渋谷駅中心地区全体における広場空間のあり方について

- 広場空間等検討委員会での検討事項 資料 3-1
- 各施設の検討事項 資料 3-2
- 広場ビジョンについて 資料 3-3

④ 渋谷駅前のエリアマネジメントについて

- 渋谷駅前エリアマネジメントの 2024 年度の活動報告 資料 4-1
- 渋谷駅周辺のサインについて 資料 4-2

⑤ その他

- まちづくり指針の改定について 参考資料

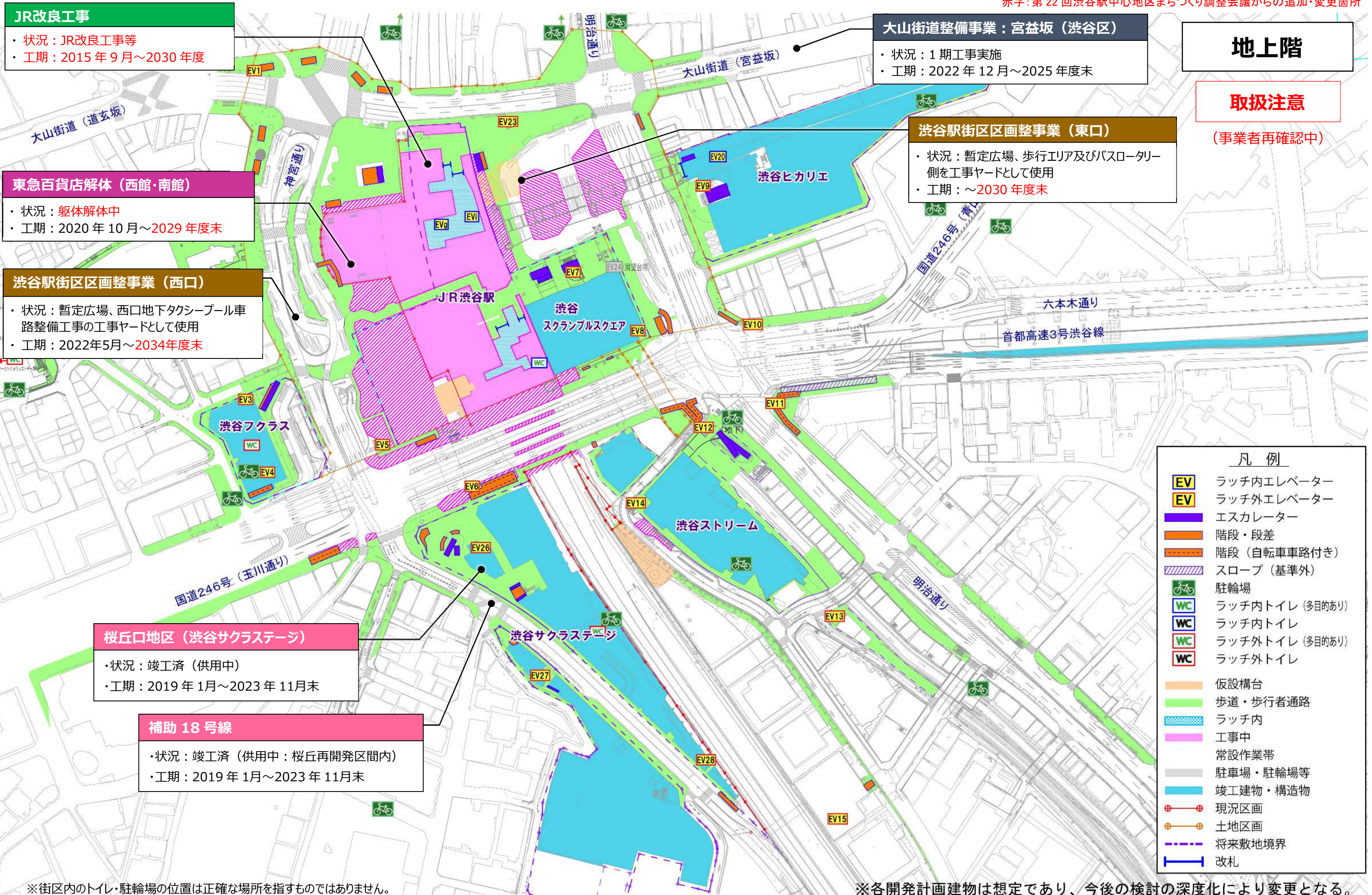
(2) その他

開催日時：令和 7 年 6 月 20 日（金）

10：00～11：30

開催場所：渋谷区立勤労福祉会館 第 1 洋室

赤字：第 22 回渋谷駅中心地区まちづくり調整会議からの追加・変更箇所



地上階

取扱注意

（事業者再確認中）

赤字: 第 22 回渋谷駅中心地区まちづくり調整会議からの追加・変更箇所

デッキ階

取扱注意

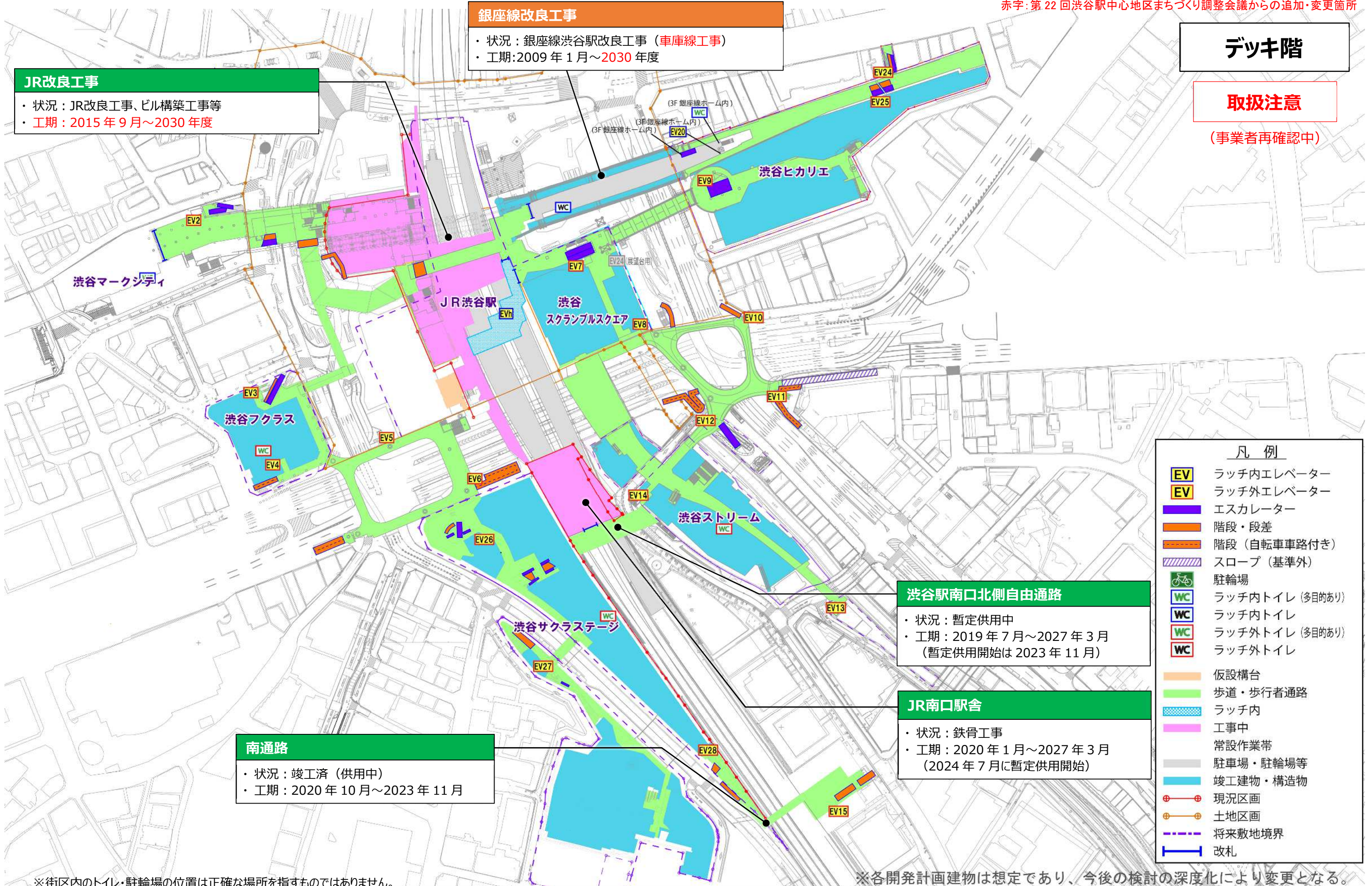
(事業者再確認中)

JR改良工事

- ・ 状況：JR改良工事、ビル構築工事等
- ・ 工期：2015 年 9 月～2030 年度

銀座線改良工事

- ・ 状況：銀座線渋谷駅改良工事（車庫線工事）
- ・ 工期:2009 年 1 月～2030 年度



凡 例	
EV	ラッチ内エレベーター
EV	ラッチ外エレベーター
	エスカレーター
	階段・段差
	階段（自転車車路付き）
	スロープ（基準外）
	駐輪場
WC	ラッチ内トイレ（多目的あり）
WC	ラッチ内トイレ
WC	ラッチ外トイレ（多目的あり）
WC	ラッチ外トイレ
	仮設構台
	歩道・歩行者通路
	ラッチ内
	工事中
	常設作業帯
	駐車場・駐輪場等
	竣工建物・構造物
	現況区画
	土地区画
	将来敷地境界
	改札

渋谷駅南口北側自由通路

- ・ 状況：暫定供用中
- ・ 工期：2019 年 7 月～2027 年 3 月（暫定供用開始は 2023 年 11 月）

JR南口駅舎

- ・ 状況：鉄骨工事
- ・ 工期：2020 年 1 月～2027 年 3 月（2024 年 7 月に暫定供用開始）

南通路

- ・ 状況：竣工済（供用中）
- ・ 工期：2020 年 10 月～2023 年 11 月

※街区内のトイレ・駐輪場の位置は正確な場所を指すものではありません。

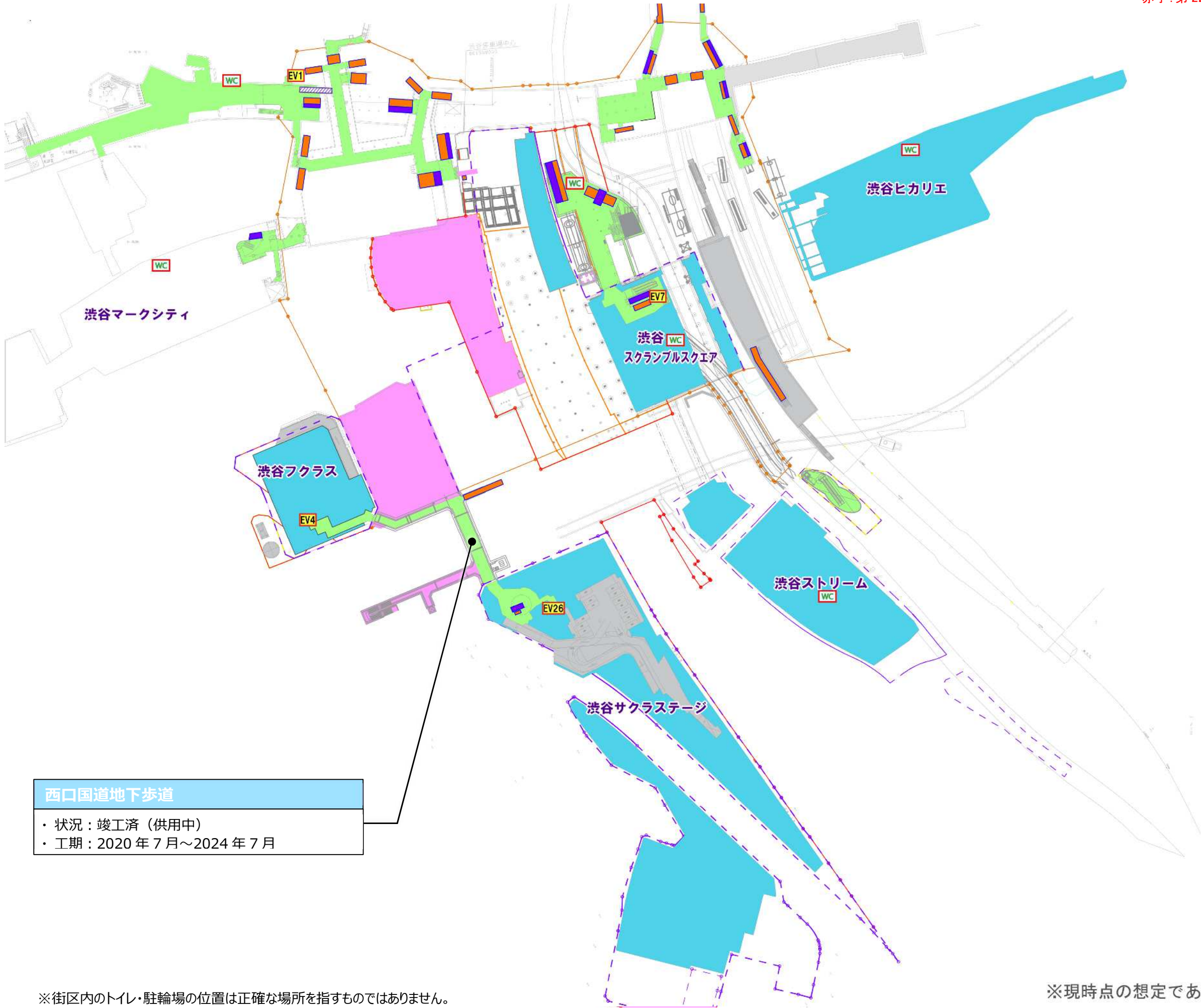
※各開発計画建物は想定であり、今後の検討の深度化により変更となる。

赤字: 第 22 回渋谷駅中心地区まちづくり調整会議からの追加・変更箇所

B1 階

取扱注意

(事業者再確認中)



西口国道地下歩道

- ・ 状況：竣工済（供用中）
- ・ 工期：2020 年 7 月～2024 年 7 月

凡 例	
EV	ラッチ内エレベーター
EV	ラッチ外エレベーター
	エスカレーター
	階段・段差
	階段（自転車車路付き）
	スロープ（基準外）
	駐輪場
WC	ラッチ内トイレ（多目的あり）
WC	ラッチ内トイレ
WC	ラッチ外トイレ（多目的あり）
WC	ラッチ外トイレ
	仮設構台
	歩道・歩行者通路
	ラッチ内
	工事中
	常設作業帯
	駐車場・駐輪場等
	竣工建物・構造物
	現況区画
	土地区画
	将来敷地境界
	改札

※街区内のトイレ・駐輪場の位置は正確な場所を指すものではありません。

※現時点の想定であり、今後の計画の深度化により変更となる。

赤字: 第 22 回渋谷駅中心地区まちづくり調整会議からの追加・変更箇所

B2 階

取扱注意

(事業者再確認中)

東口地下貯留槽（2019 年 8 月供用開始）

- ・ 状況：取水管残工事
- ・ 工期：2011 年 2 月～2026 年度末

東口国道地下歩道

- ・ 状況：スクランブルスクエア接続部工事中
- ・ 工期：本体（2025 年 3 月末）
※竣工時期調整中

参考）駐車場ネットワークの整備状況

現在

- 完成建物
- 工事中建物
- 駐車場
- 地下車路
- 入庫・出庫動線

全街区完成時 (2030 年代前半)

- 完成建物
- 工事中建物
- 駐車場
- 地下車路
- 入庫・出庫動線

※現時点の想定であり、今後の計画の深度化により変更となる。

- #### 凡 例
- EV ラッチ内エレベーター
 - EV ラッチ外エレベーター
 - エスカレーター
 - 階段・段差
 - 階段（自転車車路付き）
 - スロープ（基準外）
 - 駐輪場
 - WC ラッチ内トイレ（多目的あり）
 - WC ラッチ内トイレ
 - WC ラッチ外トイレ（多目的あり）
 - WC ラッチ外トイレ
 - 仮設構台
 - 歩道・歩行者通路
 - ラッチ内
 - 工事中
 - 常設作業帯
 - 既存建物
 - 竣工建物・構造物
 - 現況区画
 - 土地区画
 - 将来敷地境界
 - 改札

西口国道地下車路

- ・ 状況：竣工済（供用中）
- ・ 工期：2016 年度～2023 年度

※街区内のトイレ・駐輪場の位置は正確な場所を指すものではありません。

五街区統合図とは

- 渋谷駅周辺における基盤計画（道路事業、鉄道事業）、開発計画（開発ビルの渋谷ヒカリエ、渋谷ストリーム、渋谷スクランブル・スクエア、渋谷フクラス、渋谷サクラステージの五街区）、その他関係する計画の将来図面を共有・統合した図面であり、渋谷駅前エリアマネジメント協議会にて管理更新を実施している。

＜2024年度の五街区統合図の主な更新内容＞

- ハチ公広場や東口広場にある占用物件等の表出物を更新対象として追加
- 渋谷地下街や地下鉄駅の周辺通路等を更新対象として追加
- その他施設計画の深度化に合わせて形状等を修正

凡例

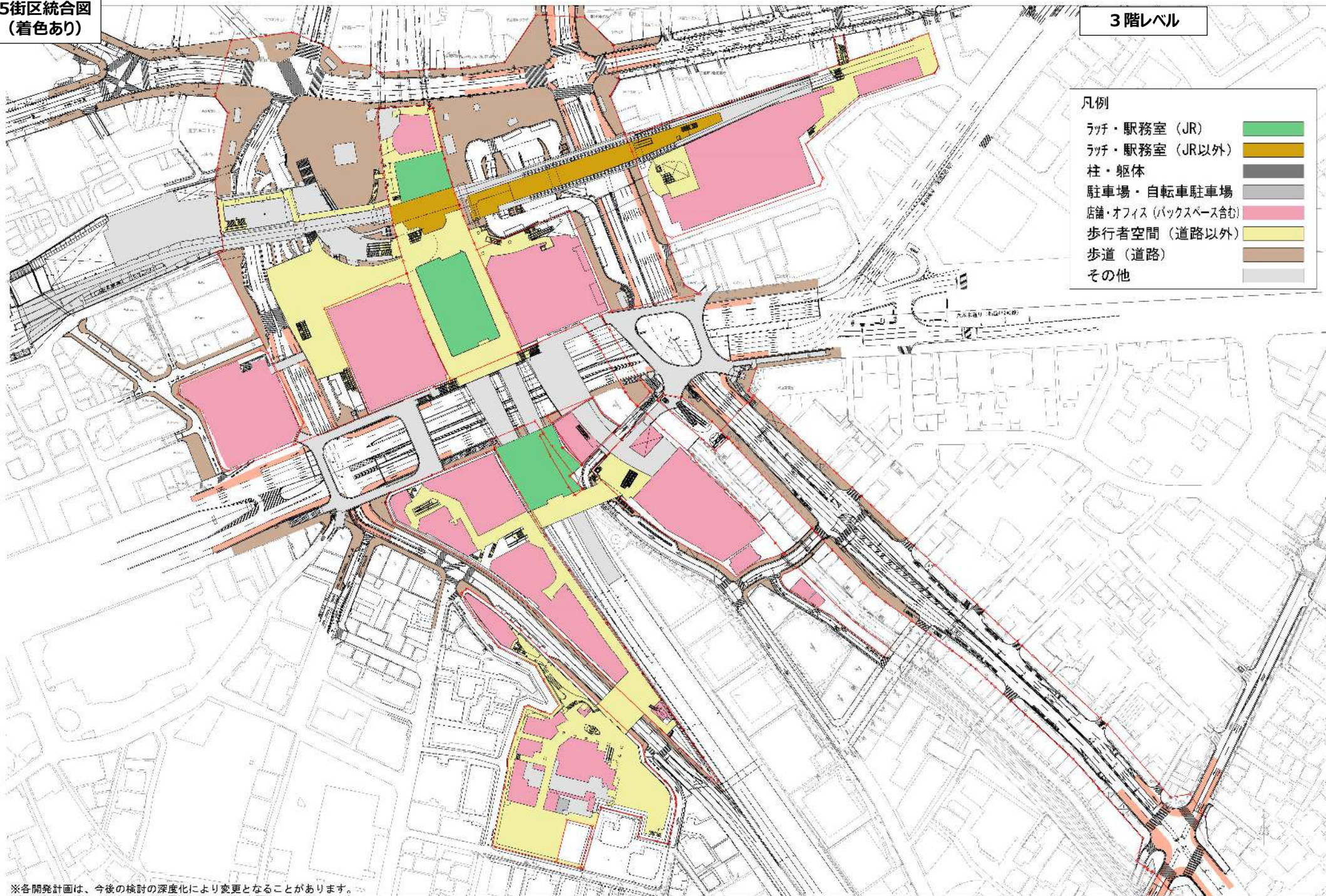
ラッチ・駅務室 (JR)	
ラッチ・駅務室 (JR以外)	
柱・躯体	
駐車場・自転車駐車場	
店舗・オフィス (バックスペース含む)	
歩行者空間 (道路以外)	
歩道 (道路)	
その他	

※各開発計画は、今後の検討の深度化により変更となることがあります。



凡例

ラッチ・駅務室 (JR)	
ラッチ・駅務室 (JR以外)	
柱・躯体	
駐車場・自転車駐車場	
店舗・オフィス (ボックススペース含む)	
歩行者空間 (道路以外)	
歩道 (道路)	
その他	

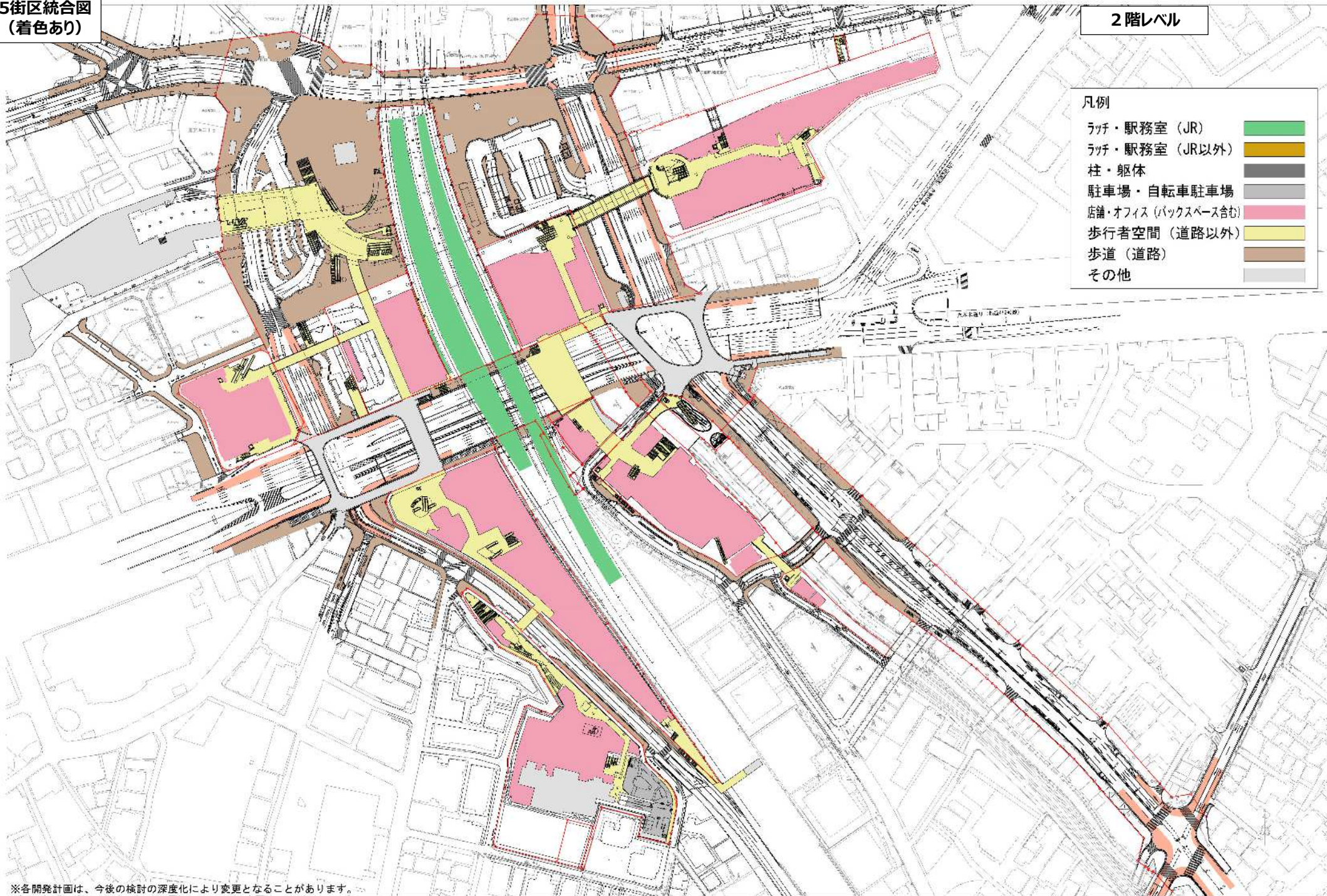


※各開発計画は、今後の検討の深度化により変更となることがあります。



凡例

ラッチ・駅務室 (JR)	
ラッチ・駅務室 (JR以外)	
柱・躯体	
駐車場・自転車駐車場	
店舗・オフィス (バックスペース含む)	
歩行者空間 (道路以外)	
歩道 (道路)	
その他	

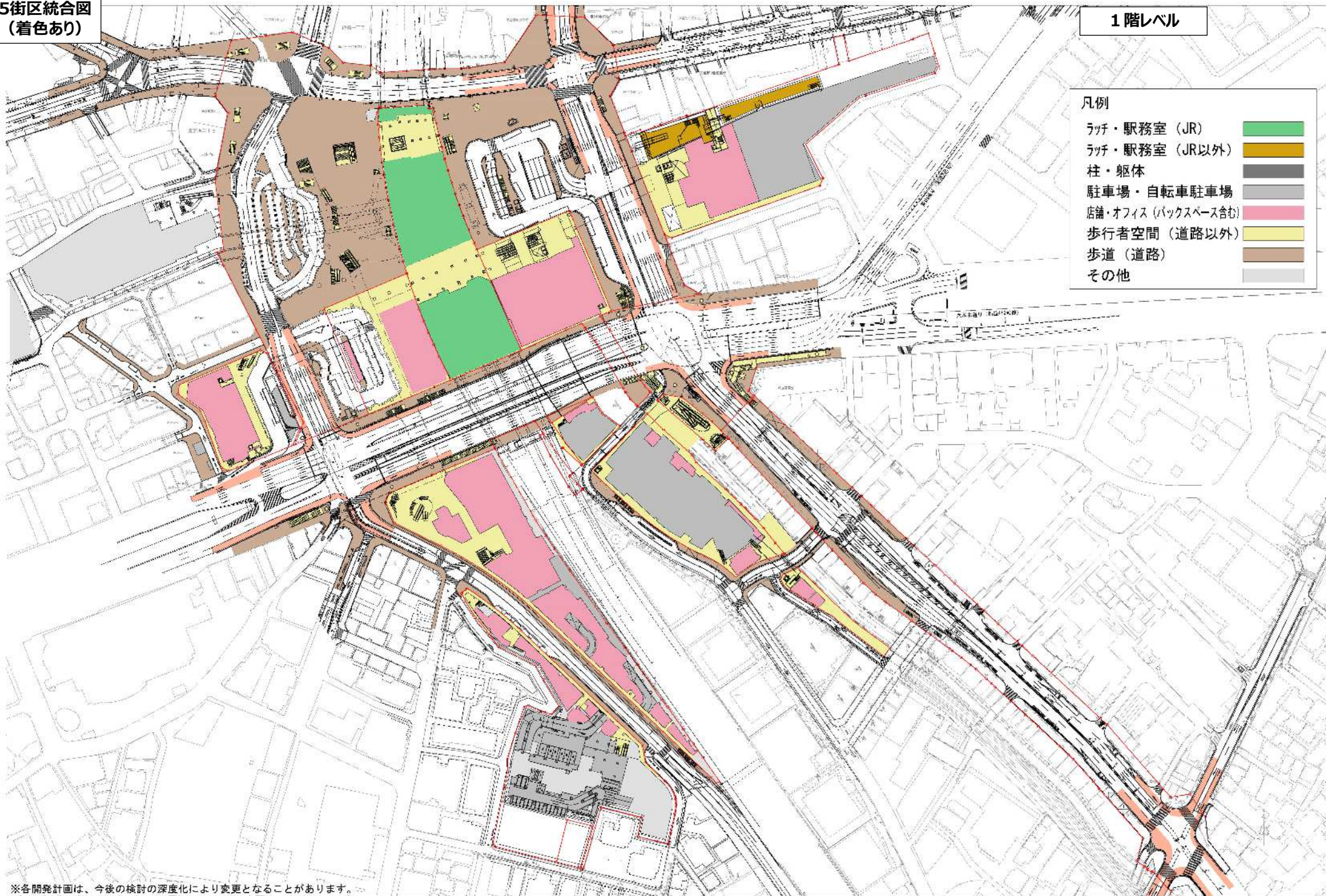


※各開発計画は、今後の検討の深度化により変更となることがあります。



凡例

- ラッチ・駅務室 (JR)
- ラッチ・駅務室 (JR以外)
- 柱・躯体
- 駐車場・自転車駐車場
- 店舗・オフィス (バックスペース含む)
- 歩行者空間 (道路以外)
- 歩道 (道路)
- その他



※各開発計画は、今後の検討の深度化により変更となることがあります。

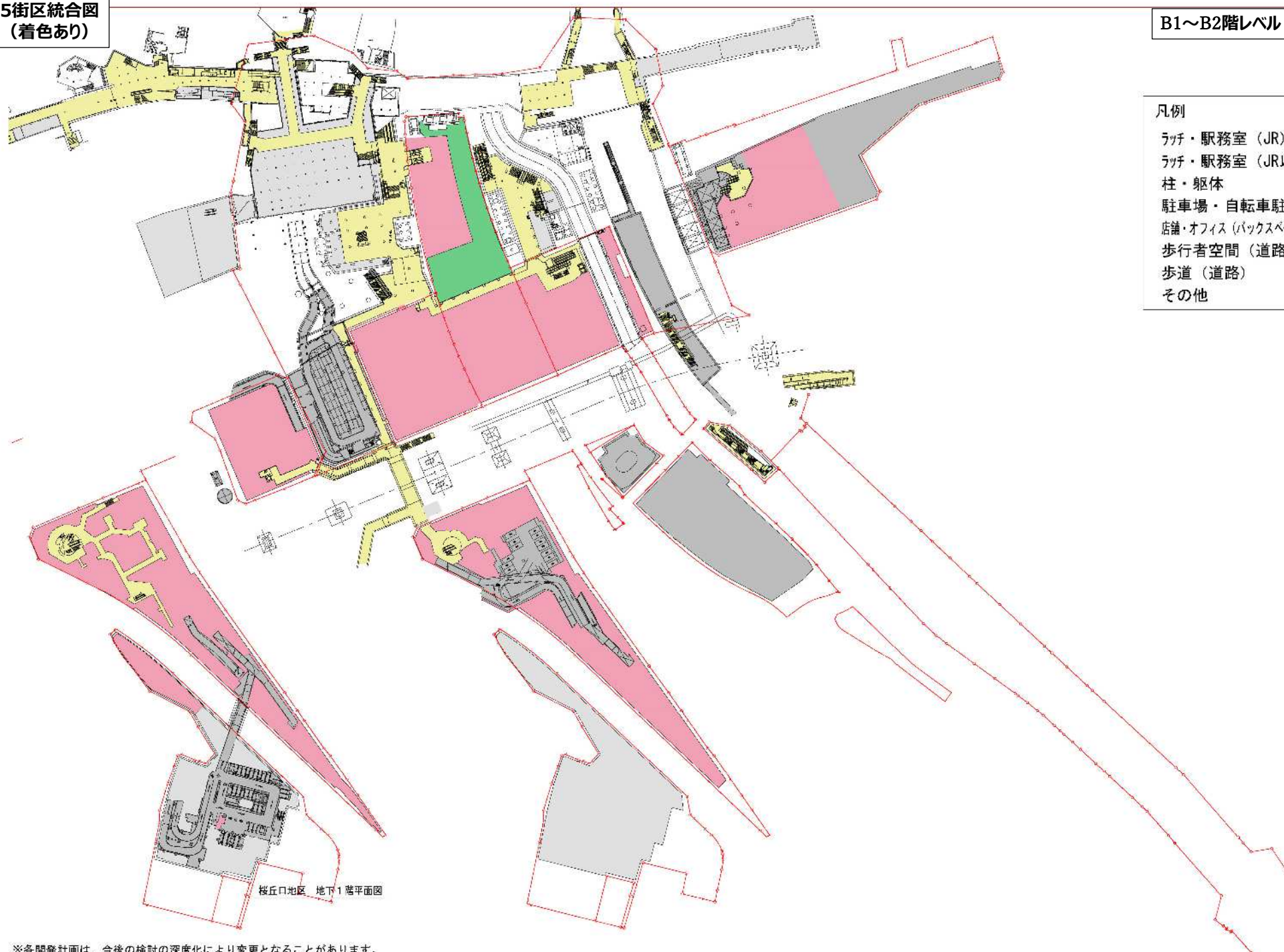


5街区統合図
(着色あり)

B1～B2階レベル

凡例

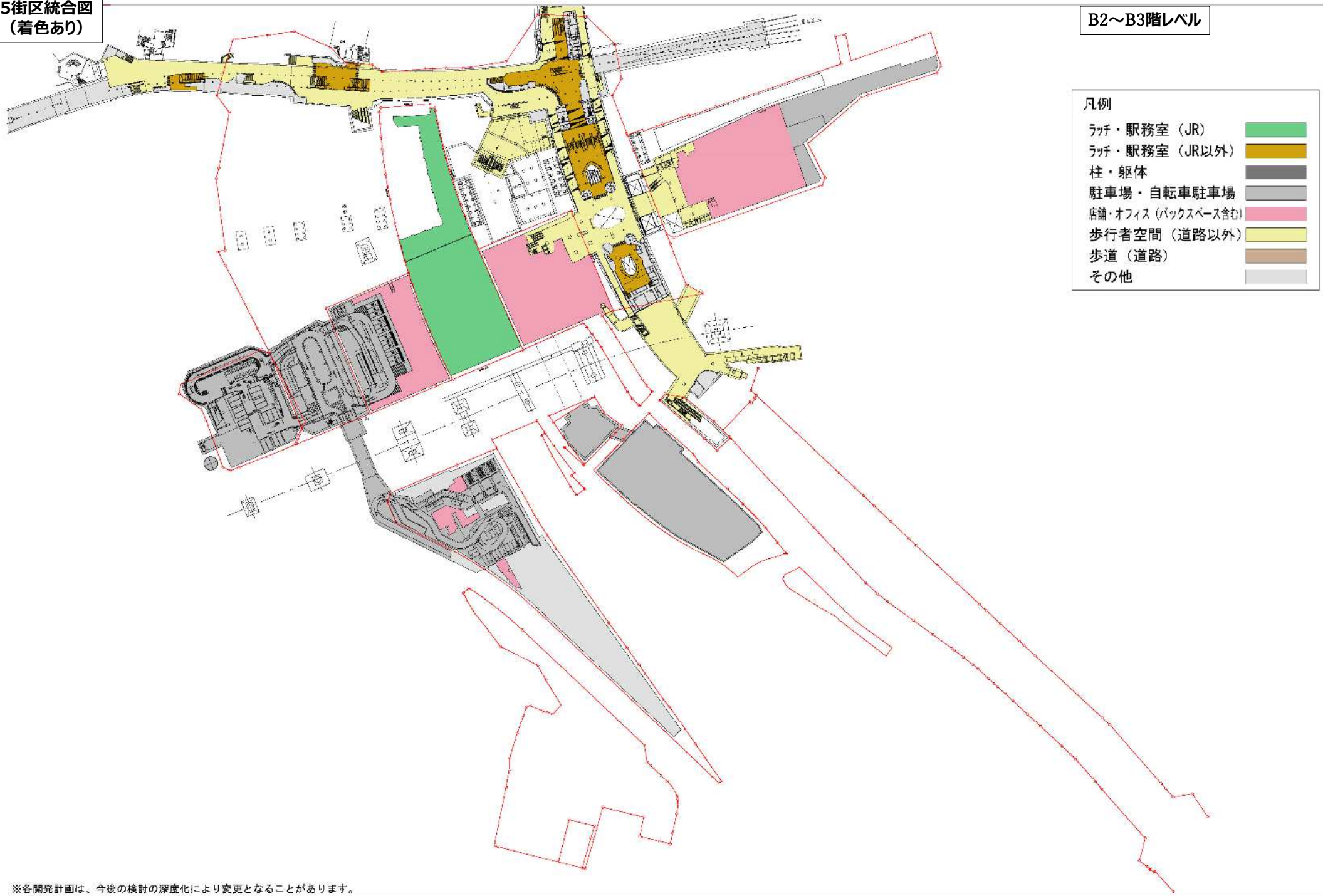
ラッチ・駅務室 (JR)	
ラッチ・駅務室 (JR以外)	
柱・躯体	
駐車場・自転車駐車場	
店舗・オフィス (バックスペース含む)	
歩行者空間 (道路以外)	
歩道 (道路)	
その他	



桜丘口地区 地下1階平面図

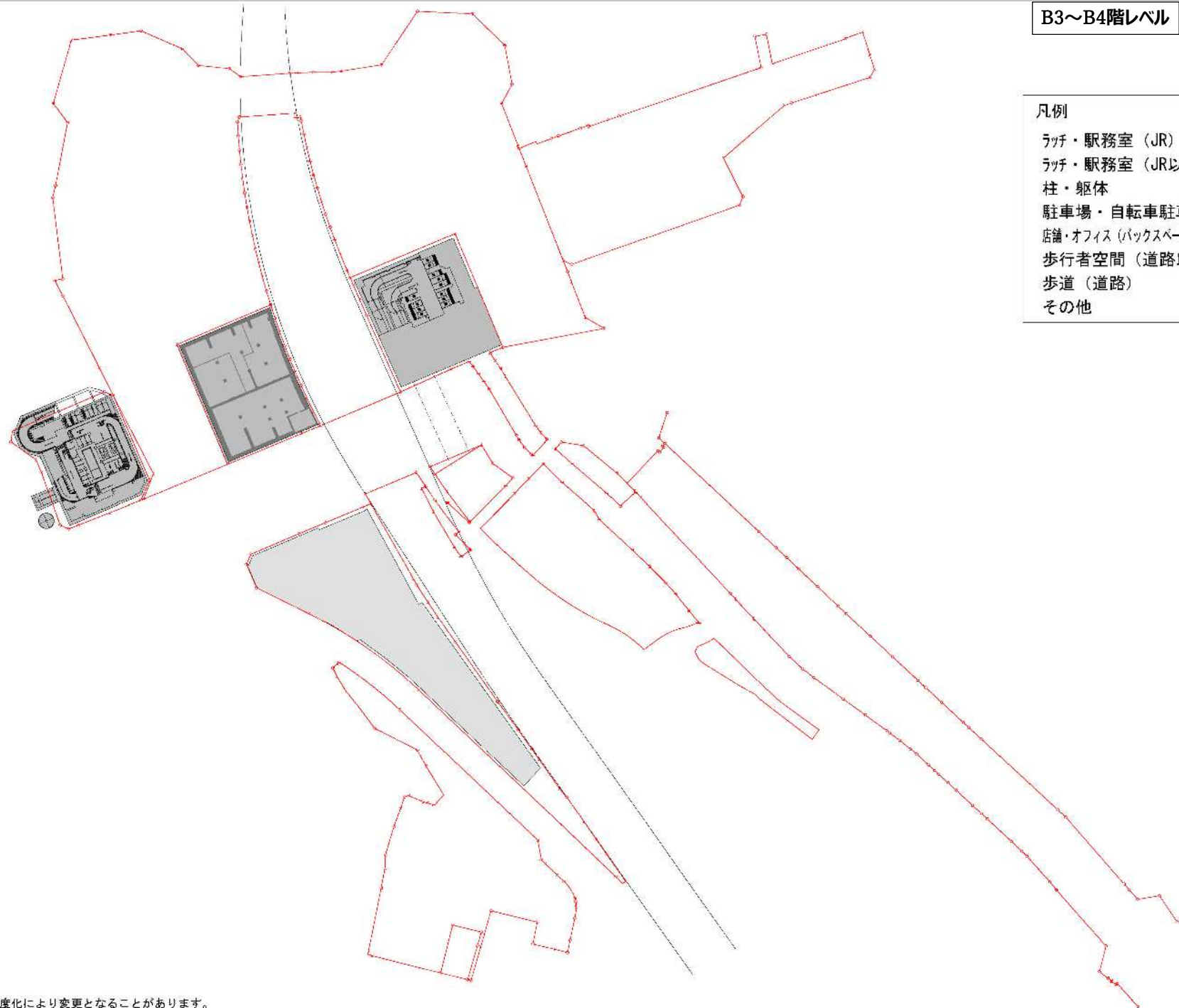
※各開発計画は、今後の検討の深度化により変更となることがあります。





- 凡例
- ラッチ・駅務室 (JR)
 - ラッチ・駅務室 (JR以外)
 - 柱・躯体
 - 駐車場・自転車駐車場
 - 店舗・オフィス (バックスペース含む)
 - 歩行者空間 (道路以外)
 - 歩道 (道路)
 - その他

※各開発計画は、今後の検討の深度化により変更となることがあります。



凡例

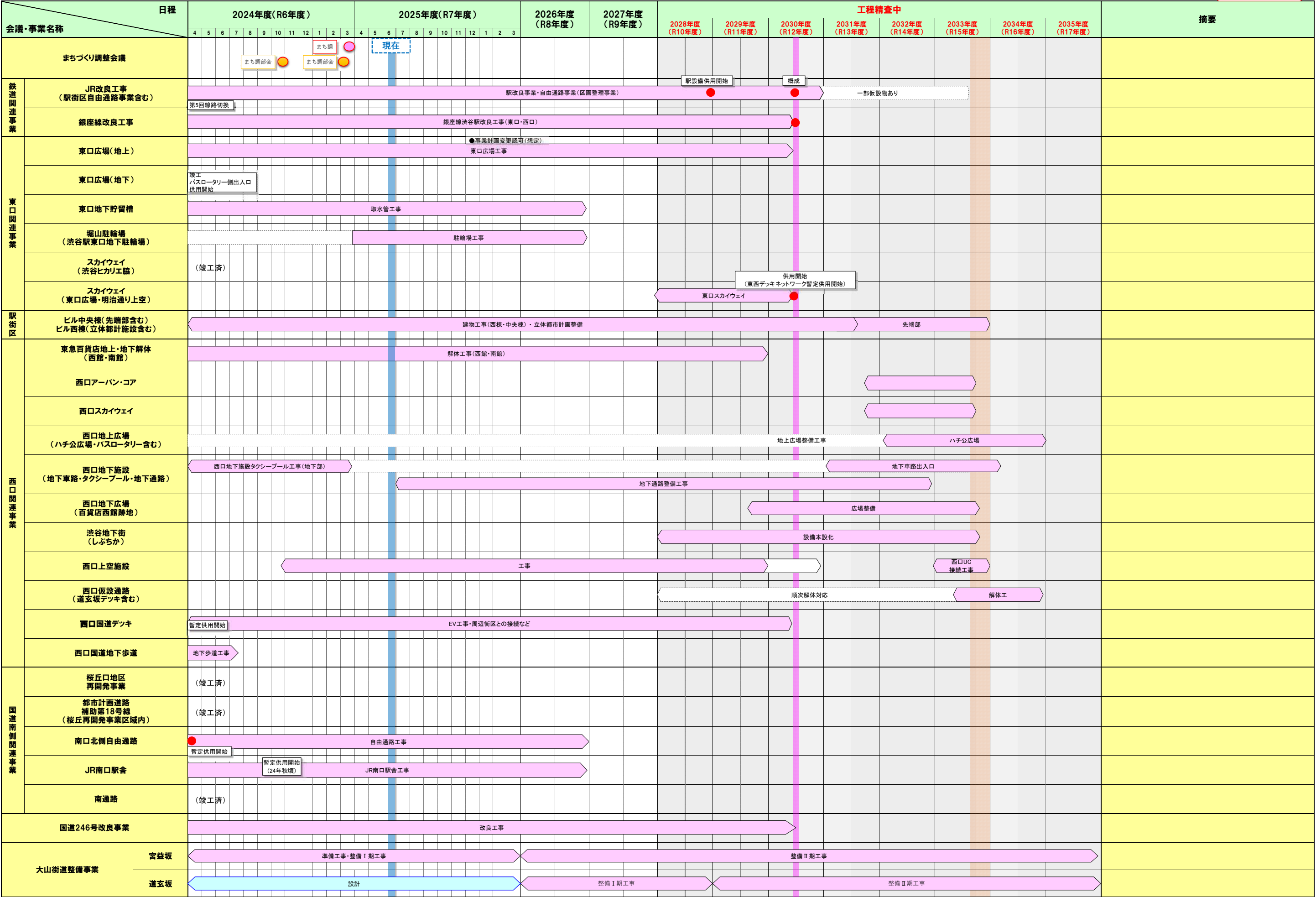
ラッチ・駅務室 (JR)	
ラッチ・駅務室 (JR以外)	
柱・躯体	
駐車場・自転車駐車場	
店舗・オフィス (バックスペース含む)	
歩行者空間 (道路以外)	
歩道 (道路)	
その他	

※各開発計画は、今後の検討の深度化により変更となることがあります。



③全体事業スケジュール(案)

取扱注意



※ 上記の各工程について、工程短縮に向けた精査を継続

※ 上記以外の仮設・本設交番整備、B1～B2乗換階段ESC整備については、整備時期調整中。

まちびらき
※スカイウェイの仮設状態(屋根なし)
での供用開始に関する許認可が必要

歩行者ネットワーク完成

国道246号沿道の課題

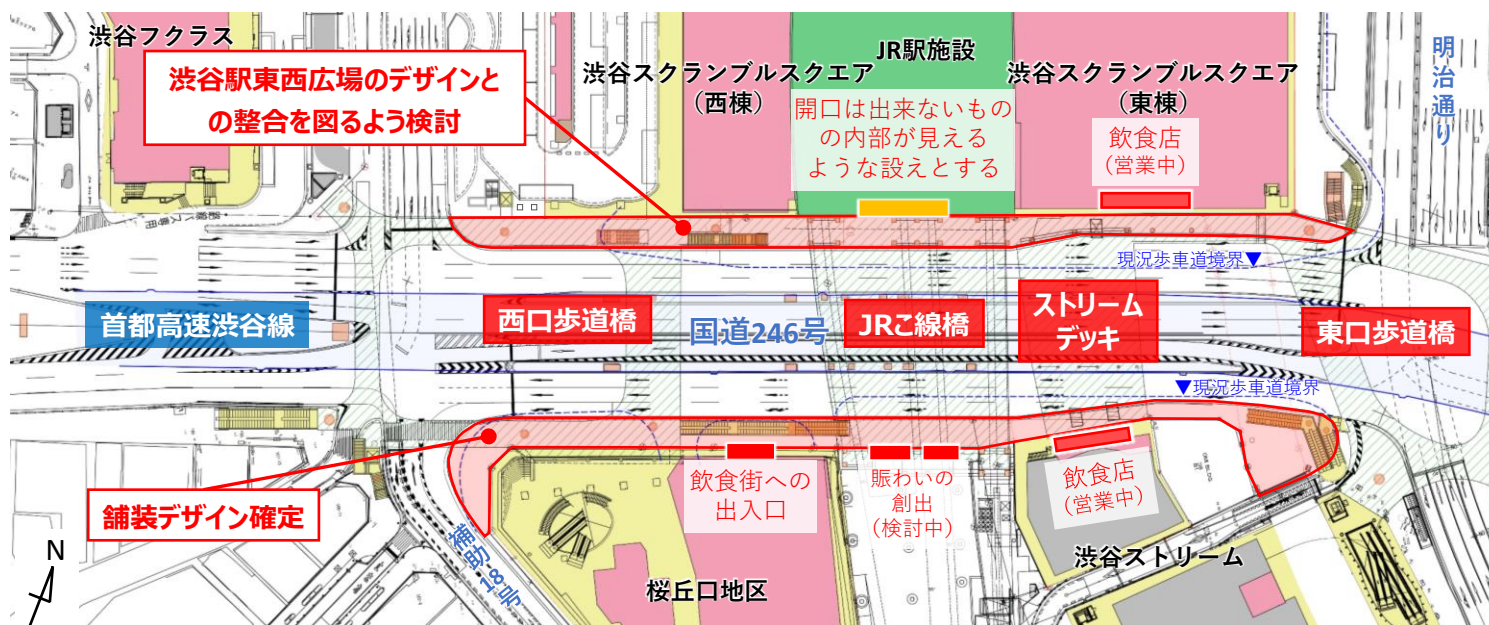
- 国道246号の上空は、鉄道や横断橋、首都高速の施設により塞がれ、地上については柱等による狭さく部が生じており、閉鎖的な空間となっているため、出来るだけ人目に触れ、明るく、安心できる空間の構築が求められている。

基本的な考え方

- 照明施設などで明るい環境を確保する。
- 沿道の建物には出来るだけ店舗などを配置し、賑わいの創出に努める。
- 舗装や転落防止柵などの道路施設と建物との連携したデザインなどにより、良好な空間の確保を行う。
- 普段は歩行者も少ないため、道路空間を活用した賑わいの創出などの検討を行う。
- 清掃などを含め、空間の環境の保全のための検討を行う。

検討の方向性

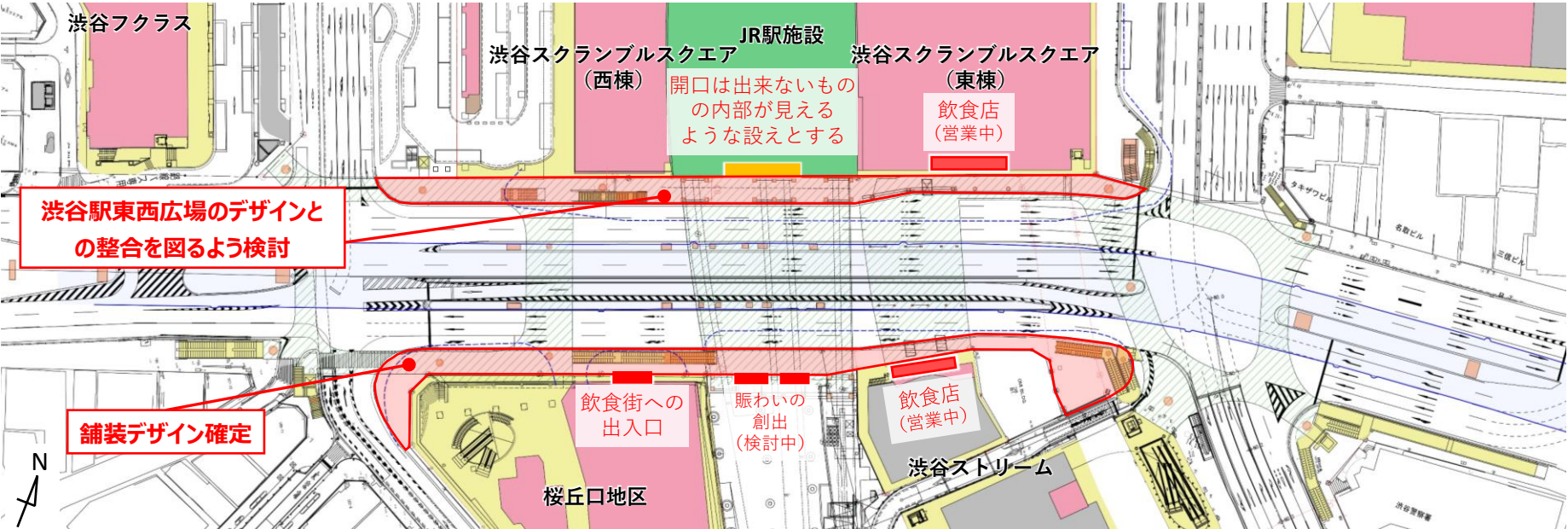
- 歩行者空間の整備にあたっては、北側・南側それぞれの区間でデザインの整合を図るよう検討する。
- 照明は、明るさを重視し、全域を統一したものとする。
- 上部構造物を支える柱に対しても同様にデザイン、照明での演出など検討を行う。
- 賑わいの創出などにより、出来るだけ安心のできる空間づくりを行う。



※ベース図は更新作業中のため、最新情報が反映されていないものがあります。

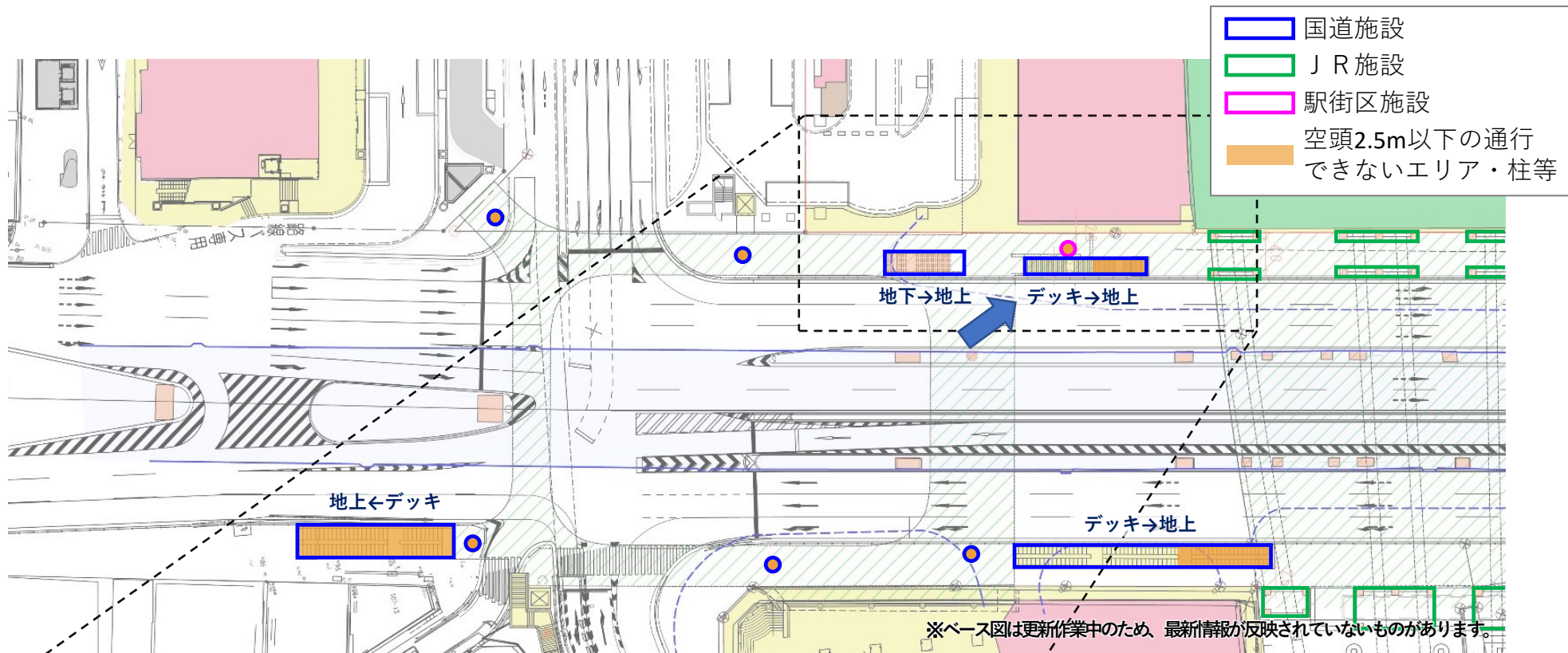
国道246号沿道環境について
 ②これまでの確認事項と検討状況

検討事項	状況
舗装について	- 舗装は北側・南側それぞれの区間でデザインの整合を図り、国道の舗装に関しても擬石透水平板ブロックを基本とする。 - 北側：渋谷駅東西駅前広場のデザインの深度化を踏まえ、引き続き検討を行う。 - 南側：関係者（渋谷サクラステージ、JR、渋谷ストリーム）連携のうえ、デザインを確定（2023年4月）。施工については、国道246号の最終形工事の際に修景舗装も行う。
歩道照明	- 道路機能として必要な照明は国道でも確保。 - 上部構造物や民地側からの照明により、基準以上の照度を確保するように検討。
上部構造物等の照明演出	- 橋脚等（首都高を除くJRや国道デッキ、占用デッキ等）が林立しているため、デザインやライティングなどについても検討。 - JRの桁裏などの化粧も検討。
にぎわいの創出	- 北側：建物の深度化に伴い、裏にならないよう修景の検討を行う。 - 南側：渋谷サクラステージと渋谷ストリームの外観が決定。JR桁下空間の演出を検討中。 - イベントや夜間の歩道の利用など、エリマネ活用など、ソフト面でも積極的に検討する。



※ベース図は更新作業中のため、最新情報が反映されていないものがあります。

国道246号沿道環境について ③狭さく部の検討状況



<西口デッキ北側の狭さく部周辺寸法>



本資料は現時点計画であり、今後変更の可能性があります。

<西口デッキ北側の狭さく部周辺イメージ>

